

## 決算特別委員会

- ◎ 開催日時 令和2年10月20日（火）9時59分～16時51分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 水上知事公室長、森中商工観光労働部長、浅見会計管理者、河瀬企業庁長、福永教育長、山元監査委員事務局長および関係職員

### ◎ 議事の概要

- 1 議第136号、議第140号、議第141号、報第9号、報第11号および報第12号について（部局ごとの審査）

#### 【商工観光労働部・労働委員会事務局所管分】

委員からは、ビワイチ観光推進事業について、滋賀県内への経済効果の向上に寄与するため、ここ滋賀と連携した1泊2日のメニューの研究などを通して、さらなる観光振興を図っていただきたい、びわ湖環境ビジネスメッセについて、昨年度で一旦休止するとされたが、今後の在り方については、県が主導となって滋賀県の産業を盛り上げていくための方策を考えていくべきである、などの意見が出された。

#### 【企業庁所管分】

委員からは、工業用水道事業において、経常利益が対前年度比2割減となっていることをしっかりと認識して、次の施策に生かしていただきたいとの意見が出された。

#### 【知事公室所管分】

委員からは、県ホームページにおける情報発信について、キャンペーンや新型コロナウイルス感染症関連等の情報がタイムリーに発信されていないので、改善すべき課題を抽出し、変えるべきところは変えていく必要がある、県ホームページの運用管理業務委託について、県ホームページのウェブアクセシビリティ方針では、年度ごとに方針を見直した上で毎年度試験結果を公表するとされているが、現在公表されているものは平成30年度分であり、令和元年度の試験結果は公表されていないため、委託業務が適正に行われたかどうか判断することができない、県広報誌「滋賀プラスワン」の発行について、新聞の購読が減り、新聞折込による配布が減っているのであれば、違う方法を考える必要があるのではないか、などの意見が出された。

#### 【教育委員会所管分】

委員からは、部活動指導員配置促進事業について、部活動においては人間関係の醸成等も重要であることから、単なるスポーツ等の技術的な指導にとどまることがないように、多角的な視点を持って事業を進められたい、スクールカウンセラー等活用事業について、人材の確保が難しく徐々に拡充していきたいとのことであるが、いじめ問題等の解決に高い効果が認められるものであり、早急に対象校を増やすべきである、などの意見が出された。



#### 委員会配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）商工観光労働部等
- 2 令和元年度随意契約の結果 商工観光労働部等
- 3 決算特別委員会部局別資料（令和元年度工業用水道事業決算、令和元年度水道用水供給事業決算）企業庁
- 4 令和元年度随意契約の結果、令和元年度長期継続契約締結結果 企業庁
- 5 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）知事公室
- 6 令和元年度随意契約の結果 知事公室
- 7 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）教育委員会
- 8 令和元年度随意契約の結果 教育委員会